

さらに使いやすく進化したベストセラー書棚 小島工芸『アコード』

発売から35年以上の歴史を持つ小島工芸のロングセラー書棚。
お客様のご要望や最新トレンドを採用し時代のニーズに合わせ進化するのがヒットの秘密です。

小島工芸のYoutube動画をご紹介します。
https://www.youtube.com/watch?v=6bcti_ljvto

台輪カット

ハイタイプ・ロータイプの台輪部分をカットします。カット寸法最大7cm。1cm刻みで対応します。

※上置をご利用の場合は連結用の余幅3cmをご考慮ください。
※別途加工料金が必要となります。
※製作期間を約3週間頂戴いたします。
※オーダー後のキャンセルはご遠慮下さい。

もう少し低ければキレイに収まるのに...

「台輪カット」で対応できます。

最大7cmカット！

台輪部分 ここをカットして

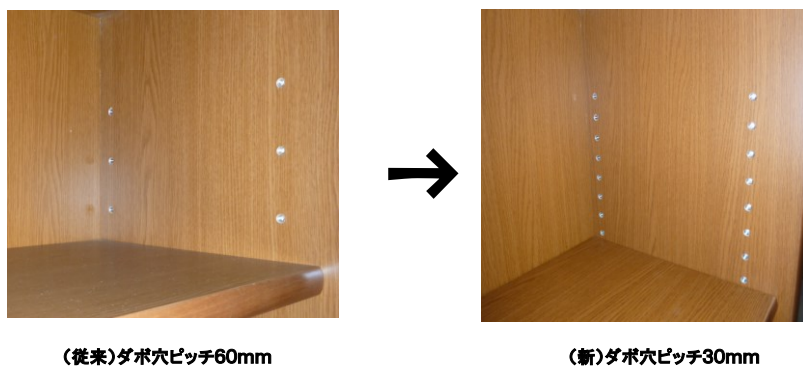
◆オプション『横連結機能』

この度、ハイタイプ・ロータイプ・上置Aタイプ・特注上置Cタイプに、オプションで「左右ジョイント穴あけ加工」が出来るようになりました。左右の「横連結」をすることで、横に並べた本棚をピッタリ隙間なく連結できます。



- ハイタイプ : 6カ所(左右3カ所)の穴あけ加工
- ロータイプ・上置A・特注上置C: 4カ所(左右2カ所)の穴あけ加工
- ◆穴の位置、数は変更できません
- ◆詳しくは山川家具へ問合せ下さい

◆棚ダボのピッチ改良 60mm→30mm



(従来)ダボ穴ピッチ60mm

(新)ダボ穴ピッチ30mm

効率の良い棚の位置決めが可能になりました。
・ムダな空きスペース削減で、収納冊数アップを実現しました。

◆棚板ダボ穴改良で約1度傾斜を実現 ⇒揺れに強く、本が落ち難い。



【背板側】
 <上段>新タイプ
 <下段>従来タイプ【上下逆にて撮影】

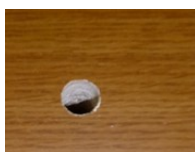


【背板側】
 <上段>新タイプ:背板側のダボ穴が一回り大きい
 <下段>従来タイプ

ダボ受け窪みの大きさを前後で変えました。奥側を前側より一回り深く削り棚板をセットした際に棚板角度が約1度、後ろに傾斜します。角度をつけると棚に本を載せた時に書棚の後ろ向きに重心がかかります。地震でも手前に本が落下するのを防ぐ効果を生みます。一般に棚板のダボ穴を必要以上に大きくしては棚板荷重強度の問題が発生します。「アコード」棚板は厚み24mmで強度があるので実現できた技です。

◆上置きと本棚本体の接続パーツを変更。

⇒ボルトを貫通させて強固にボルト止める仕様に変更。
 本体と上置きの組み合わせで多彩な書棚高さを実現しました。



<天板上>穴貫通



<天板の下>穴貫通



<天板の下>ボルト締め

◆本体と上置き組み合わせで多彩な書棚高さを実現

組み合わせ高さ例

特注上置Cを組み合わせたときの高さ寸法(耐震補助具の高さを除く)

※表示の寸法には耐震補助具の高さを含みません。
 ※耐震補助具は着脱可能です。取付け時は、本体高さ寸法プラス5cm〜10cmになります。
 ※耐震補助具は特注上置Cの付属部品です。ご使用にならない場合でも価格が変わりません。

